



# 公明市議会ニュース

発行所：公明党川崎市議団 住所：川崎区宮本町1 TEL 044-200-3361 発行人：菅原 進 編集人：後藤 晶一

## 平成23年 第4回定例会 代表質問

山田はるひこ議員は、9月14日に開催された、市議会定例会で公明党を代表して質問に立ち、東日本大震災から半年が経過した現在、市民生活を守るための防災危機管理対策の強化をはじめ緊急経済対策や救急医療、がん対策など市民に直結した施策を迅速かつ的確に、推進することが重要として21項目にわたる質問をいたしました。



質問に立つ山田議員

## 災害情報の充実を!

災害時の情報伝達の拡充について取上げ、情報を一斉に配信できるエリアメールをNTTドコモ1社から他社携帯への拡充について対応を質しました。

市は「平成24年春よりKDDI・ソフトバンクによるサー

ビスが開始する」と答弁しました。

また避難所となる市立小・中・高の体育館121カ所に、避難者がニュースや安否情報を知るための屋内テレビ用アンテナを整備することが明らかになりました。

## 高層マンションの震災対策を急げ!

震災時、高層マンションでは、停電によりエレベーターや水道、といったライフラインが停止し、高層階が孤立化することが懸念されると指摘、中間階への備蓄倉庫の確保や高層マンションを建設する際の基準を設

置すべきと対応を求めました。

市は備蓄を行うスペースの確保や、低層階部分に直結給水方式トイレの設置などの確保を促す指導基準を年度内に策定すると答弁しました。



## 大腸がん検診無料クーポン券始まる!

公明党が推進してきた、がんの早期発見のための検診、乳がん・子宮がん検診の無料クーポン券に続き、大腸がん検診の無料化が実現しました。

市は40・45・50・55・60歳の方を対象に24年2月まで実施。いずれも23年4月1日時点の年齢が対象で、無料クーポン券と検診手帳が個別に送付されることが、今回の質問で明らかになりました。

なお、対象者で既に受診され

た方は、区役所の保健福祉センターで手続きすれば償還払いを受けることが出来ます。

**定例会ダイジェスト**

大腸がん無料検診の周知を  
「川崎市議会」山田 晴彦議員は、災害発生時に市内全域の携帯電話へ災害情報などを一斉配信する「エリアメール」について、対応を求めた。市は、10月上旬に個別に送付する予定と明らかにするとともに、「一般広報も併せて実施する」と答えた。

公明新聞(9/29付)

## 中小企業 緊急支援を!

市内中小企業者が厳しい経営状況におかれていることから緊急支援の対応を質しました。市は、円高対策特別窓口の設置ほか、受注確保支援としての受発注商談会の開催や資金繰りを支援する低利の円高対策緊急資金を10月1日から実施すると答弁しました。

# いちばん近くで、動く、働く、

公明党  
川崎市議団

## 電力契約の 見直し図れ!!

電力契約を特定電気事業者(PPS)に見直すことにより、経費の削減を図れることから、本市における取り組みを質しました。

答弁では、すでに43施設で入札を行っており、19施設において特定電気事業者と契約を交わしていることが明らかになりました。

削減額は施設によって異なりますが、総額では1億円以上にのぼることも明らかになり、あわせて対象施設の拡大を求めました。

さらに最大電力の契約を見直すことが、大きく経費削減につながることから最新のプレーカー・システムの導入も提案し、今後の検討を約束させました。

## 市長に要望書を手渡す!!



公明党川崎市議団は、来年度予算編成に向けた要望書を10月11日、阿部川崎市長に提出しました。さまざまな施策と諸団体などの要望を含めた重点要望12項目を含む372項目の実現に向けた取り組みを要望しました。

## 被災地へボランティアバス運行!

東日本大震災により被災された方々を支援するため、川崎市社会福祉協議会の主催による待望の川崎市民ボランティアバスが8月に3回運行されました。行程は往復の夜行バスでの宿泊を含む3泊4日で、各回とも

約30名が参加。岩手県釜石市においてがれき撤去や側溝の泥かきなど復興支援に汗を流しました。これは公明党の議会質問が実を結んだもののひとつですが、これからも復興支援へ全力を挙げてまいります。

## 「川崎市 藤子・F・不二雄ミュージアム」の周辺整備を!

9月3日に川崎市 藤子・F・不二雄ミュージアムが開館しました。「夢」「希望」「友情」「勇気」などのメッセージを、子どもから大人まで幅広い世代に伝えていくための文化施設として開館したミュージアムは、開館以降平均来館者数：2000人/日と、連日の予約はほぼ満員の大盛況です。

ミュージアムの魅力・向上のため、多くの方々に足を運んでいただける新たな発信拠点として、アクセス路への「ベンチの設置」「トイレの設置」「案内サインの増設」を提案しました。

多摩区長は「来館者の状況を踏まえて、実情に応じた必要な対策を検討する」と答弁しました。



## うつ病対策として「集団認知行動療法」の導入を!!

「うつ病」は今や、日本人の15人に1人の割合で、いつ誰がなってもおかしくない身近な病気です。そこで、うつ病対策として、集団認知行動療法(うつ病デイケア支援事業)に取り組み素晴らしい成果を出している、沖縄県総合保健センターを視察しました。代表質問では、本年4月から保険適用が開

始されたことを踏まえ、本市への集団認知行動療法の導入、環境づくりの必要性を訴えました。

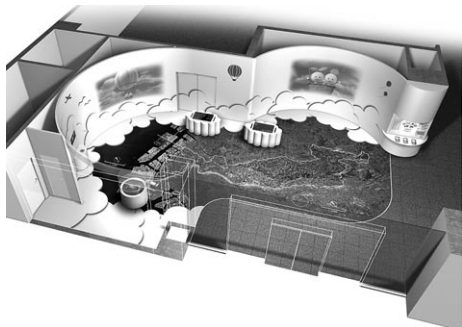
健康福祉局長は「福祉・医療関係者等の認知行動療法への理解のため研修等積極的な活用や、医療機関への普及啓発等、環境づくりに努めていく」と答弁しました。



## お知らせ

### 「かわさきエコ暮らし未来館」オープン!

低炭素社会の実現に向けた取り組みを広くPRする環境学習施設が、臨海部の浮島にオープンしました。地球温暖化、資源循環、再生可能エネルギーなど、分野ごとの取り組みが、わかりやすく展示されています。隣接する浮島処理センターの展望スペースからは、国内最大級の大規模太陽光発電所(メガソーラー)も見学できます。



### 防災テレホンサービス稼働中!!

災害時等に屋外で放送する「防災行政無線」の内容が電話で確認できます。聞き取りにくかった時の確認にご利用ください。

☎0120-910-174  
無料(神奈川県内の電話機からのみ利用可) 携帯・PHS・県外からは  
☎044-245-8870  
(通常の電話料金が課金されます)